

新たな社会的使命の遂行と組織力向上

上田 克彦

公益社団法人日本診療放射線技師会 会長

2026年の新春を迎え、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

平素は本会事業にご協力いただき、心から感謝申し上げます。本年も昨年同様に、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、本会が近年、最重要課題の一つとして取り組んでまいりましたタスク・シフト／タスク・シェアの推進に伴う告示研修につきましては、会員の皆さまの積極的な受講により、2025年度末をもって厚生労働省が設定した目標値に達する見込みとなりました。実技研修の開催において多大なるご尽力を頂きました、各都道府県診療放射線技師会の皆さまのご協力なくしては成し得なかった成果であり、深く感謝申し上げます。今後は、拡大された業務が臨床現場において安全かつ標準的に実施され、チーム医療の中で真価を發揮することを期待しております。



また昨年2月には、原子力災害医療に係る協力機関として本会が国から正式に指定を受けました。これは、原子力災害発生時において、国全体で対応に当たる「ALL JAPAN」での原子力災害医療対応体制構築の第一歩となる歴史的な出来事と言えます。放射線の専門家である診療放射線技師が、その知識と技術をもって国民の安全・安心を守るために公的な責務を担うこととなり、社会からの期待はますます高まりました。本会では、こうした要請に迅速かつ的確に応えるべく、関係官庁と連携して体制を構築してまいります。2023年に制定した「JART Vision 2040」は、短期目標はほとんど実現しておりますが、中期・長期目標の実現に向け、診療放射線技師の地位向上と職域拡大を一層推し進めたいと思います。

告示研修の目標達成という一つの節目を迎える、本会は新たな歩みを進めなければなりません。そのためには組織力の向上が必要であり、入会促進をより活発に行うことが必要です。その一環として、新卒の方については技師籍登録年度に限り年会費を無料としておりますが、2025年度は残念ながら新規入会者数が低調となりました。いま一度、各施設や養成大学等におかれましては、無料期間を活用したお試し入会のご案内と、新卒の皆さまへのお声掛けをお願い致します。お試し入会により会員のみが無料で受講できるe-ラーニング等をご活用いただき、本会の取り組みをご評価いただければ幸いです。

昨年は、会員が安心して業務に従事できる環境整備と、国民へのより質の高い医療提供を目指し、政府与党に対して来年度の予算・政策要望を提出し、その実現と強力な推進の必要性について説明致しました。昨今の厳しい病院経営状況を鑑み、経営の抜本的改善とともに、医療関係職種の待遇を他産業並みの水準へと引き上げるための補正予算措置を要望しました。また医療DXの推進においては、医療情報システムの安全管理責任者として診療放射線技師の専門性を活用することや、がん医療における放射線治療、とりわけ強度変調放射線治療(IMRT)の推進および治療用放射性同位元素の国産化に向けた政府の対応を求めました。加えて、患者さまの安全を守る「医療被ばく低減施設認定」の診療報酬上の評価や、画像診断用ディスプレイの保守管理の施設基準化など、医療の質を担保するための具体的な施策の実現に向けても働き掛けを行いました。これらの要望の多くが実現できるよう、医療政策への関わりも強化しなければなりません。皆さまのご理解とご協力をぜひお願いしたいと考えております。

本年も、会員の皆さまにとって実り多く、幸多き一年となりますよう心より願い、新年のごあいさつとさせていただきます。